

## 海外安全対策情報（2015年4月～6月分）

在ユジノサハリンスク日本国総領事館

平成27年第2四半期（4月～6月）の当地海外安全対策情報について次のとおり報告する。

### 1 社会・治安情勢

3月の前知事の汚職容疑による逮捕に続き、州政府幹部の解任等の頻繁な人事異動が進められているが、当地は政治的には安定しており、現在のところ治安情勢に悪影響を及ぼすような反政府勢力等の動きは特段見られない。

他方、当地ではサハリン州が北方領土を事実上「管轄」していることから、北方領土問題に対し、ロシアの他の地域と比較して極めて過敏な反応を示す傾向があり、例年2月7日（我が国では「北方領土の日」）或いは、その日に前後して当館建物前において、北方領土返還反対団体による抗議集会が行われている。なお、平成27年については同様の集会等は行われていないが、時の日露関係の情勢に応じて抗議集会の程度や規模も異なっており、今後も引き続き注意を要する。また、本年、当地では、第二次大戦終了70周年行事が計画されており、9月2日前後には「日本軍国主義からのサハリン南部の解放」をテーマに種々の行事が計画されており、歴史認識をめぐる日本に批判的な論調が高まる可能性がある。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般的治安情勢に関しては、殺人や女性などの弱者を狙った路上強盗や住居不法侵入等による窃盗、あるいは銃器を用いた凶悪犯罪、未成年者も含む女性への婦女暴行、大麻等の薬物所持・売買事案が後を絶たない状況である。殺人は、飲酒によるトラブルに起因するものが多いが、金品の強奪を目的としたものも発生している。当地在留邦人が強盗被害に遭うケースも過去発生しており、引続き当地治安情勢への留意が必要である。

(2) 治安当局の発表によれば、2014年にサハリン州において治安当局が認知し、登録された犯罪件数は11,509件であり、2013年（12,338件）と比較し、829件の減少となった。以下の内訳にもあるとおり、2014年は前年と比べ全犯罪登録件数は減少しているものの、殺人、重度傷害、強姦といった凶悪事件の登録件数が増加しているほか、薬物違法流通についても増加している状況にあり、また、2013年2月には、ユジノサハリンスク市内に所在する教会に男1名が侵入して銃を乱射し、2名が死亡、6名が負傷する事件が発生しており、これらの犯罪は在留邦人の生活安全上の直接的な脅威ともなりうるものであり、引き続き当地治安情勢はこれまで以上に予断を許さない状況にあると言える。

(3) 主な内訳（括弧内は前年比）

- ア 殺人及び殺人未遂：74件（102.8%）
- イ 重度傷害：224件（101.8%）
- ウ 強姦及び強姦未遂：19件（158.3%）
- エ 強盗：37件（97.4%）
- オ 略奪：344件（80.9%）
- カ 窃盗：4617件（87.1%）
- キ 詐欺：671件（94.6%）
- ク 粗暴行為：8件（53.3%）
- ケ 薬物の違法流通：1222件（100.2%）

(4) 邦人被害事案

特になし

(5) 邦人以外の被害事案（2015年4月から6月のサハリン州管内の殺人、強盗等凶悪犯罪の事例）（事件詳細記事は別添のとおり。）

ア 強盗

強盗事件については、一般家屋に対する事件が多く発生のほか、郵便局、質店及びカフェにおいても強盗が発生している状況にある。

イ 殺人、過失致死等

殺人、殺人未遂については、飲酒によるトラブル、金銭トラブルから喧嘩に発展し、ナイフで殺傷する事件が多数発生しているほか、銃器を使用した殺人事件も発生している状況にある。

ウ 暴行・傷害・強姦等

飲酒によるトラブルから暴行、傷害事件に発展するケースが多数認められるほか、強姦事件に関しては、成年女性に対するもののほか、未成年の女性に対する事件も発生している状況にある。

エ 窃盗等

窃盗事件に関しては、家主が不在中の一般家屋に侵入し、金品の窃盗を行う事件が多く発生しているほか、金品を盗んだうえ、家屋に放火する事件も発生している状況にある。

オ 薬物・銃器

薬物事件に関しては、違法薬物（ヘロイン、大麻、合成麻薬）の所持、使用事件が発生しているほか、ロシアの他の地域からサハリン州内に違法麻薬を持ち込み、販売、流通する事件が発生している状況にある。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

- 4 日本企業の安全に係る諸問題  
特になし

